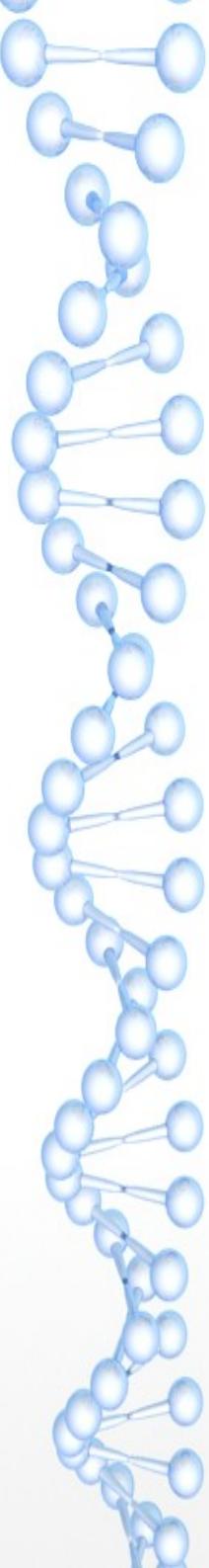


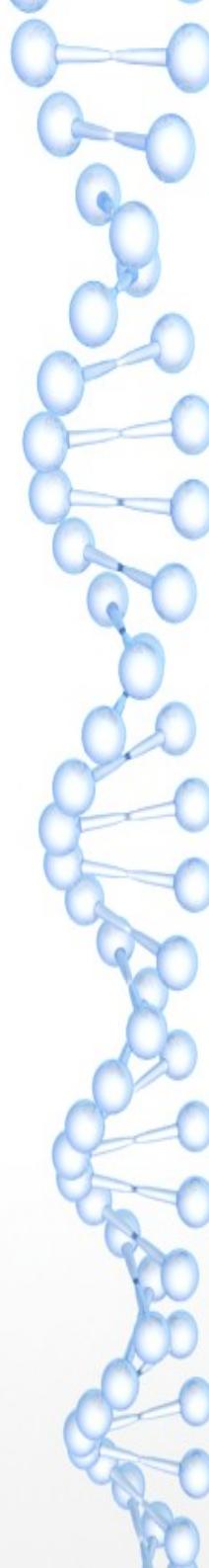
勉強会資料

クレジットカードについて



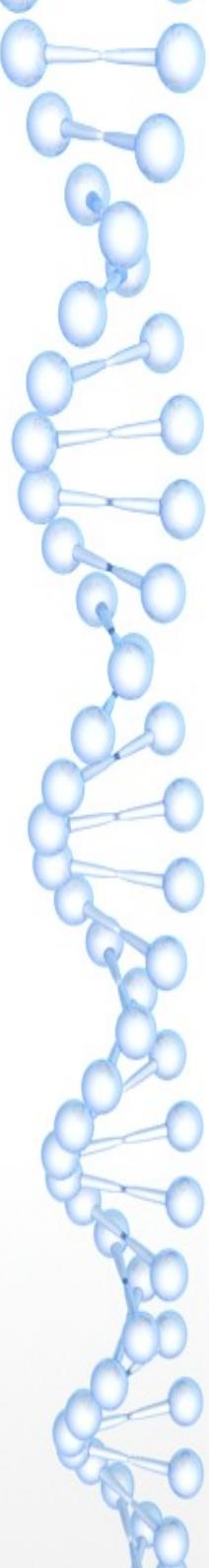
もくじ

01. クレジットカードの歴史(米国)
02. クレジットカードの歴史(日本)
03. クレジットカードの仕組み
04. クレジットカードのグレード
05. クレジットカードの良い点
06. クレジットカードの危険な点
07. クレジットカードのまとめ



クレジットカードの歴史(米国)

- ・ 米国で始まったのは19世紀後半。特定業種のみで使用が始まった。
- ・ 1910年代にタクシー業などでもカードを発行し始める。この頃にクレジットカードと呼ばれるようになる。
- ・ 1950年ごろに最初のクレジットカード専業者である
<ダイナースクラブ>が設立される。
- ・ この時の謳い文句は
<財布を忘れても惨めな思いをしなくて良い支払い方法>
- ・ 最初はチケット型だったらしい。



クレジットカードの歴史(日本)

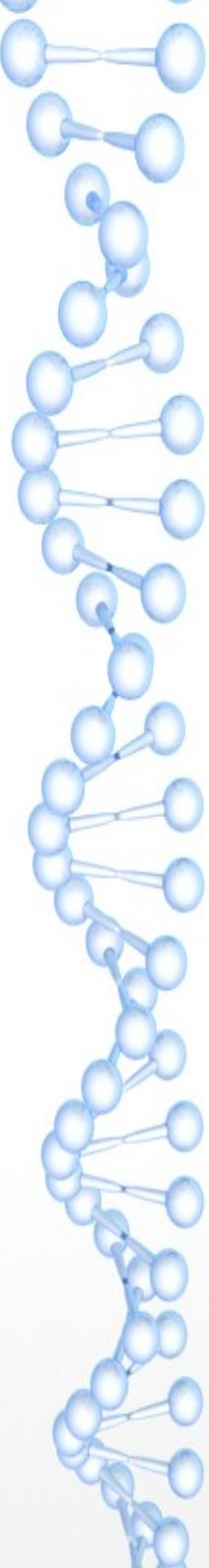
- ・ 1960年に富士銀行が日本ダイナーズクラブを創立し開始。この頃は割賦や月賦などと呼ばれていた。
- ・ 同年、丸井がクレジットプレート、クレジットカードを開始。この頃にクレジットカードを呼ばれるようになる。
この頃は支払いの際にカードは回収されていた。
今はエポスカードと呼ばれる。
- ・ 1961年に日本ダイナーズクラブがカードを発行。
JCBカードもこの頃から発行される。
日本での本格的なクレジットカード発行が始まったのがこの頃からになる。

クレジットカードの仕組み



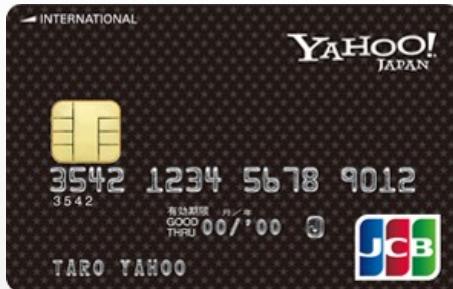
クレジットカードの関係

- ・一言で言ってしまえば上の図の通り。
- ①消費者がお店で商品やサービスを購入する。
- ②その際に発生した代金はカード会社が一時的に立て替える。
- ③その立替金のウチ3~5%を手数料としてカード会社が受け取る。コレがカード会社の利益になる。
- ④その後、消費者がカード会社に立て替えてもらった代金を支払う。



クレジットカードのグレード

- ・ 一般カード
→年間費が安い、または無料の場合がある。
限度額は20～100万円。
- ・ シルバーカード
→年間費が2000～3000円。保険が一般より充実している。
限度額は一般とさほど変わらない。
- ・ ゴールドカード
→優良な顧客のみ入手可能。年間費が1～2万円。
有料国内空港ラウンジが無料で使用できたり、ポイントの貯まりが多くなったりする。



クレジットカードのグレード

- ・ プラチナカード
→カード会社から招待があり、入会できる。
年会費は5~8万円。ゴールドカードより機能が充実している。
- ・ ブラックカード
→漫画とかで噂のブラックカード。招待がなければ入会不可
利用限度額は無制限の場合もある。
- ・ クリスタルカード
→噂だけはあるが、現実には存在しないと言われている。



クレジットカードの良い点

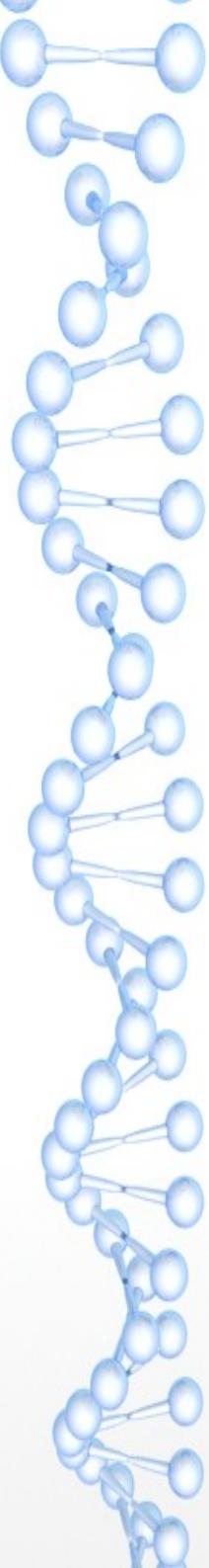
- ・ 通販での買い物が楽。支払い時の手数料がかからない場合が多い。公共料金などの支払いも簡易化される。
- ・ ポイントが貯められ、それを用いて現金のように利用できたり、商品と交換が可能。
- ・ クレジットカードを利用してすることで信用が増す。カードの使用歴はデータとして保存されていて、沢山利用し、きちんと払うことでのカードを使えることが証明されていく。その結果、他のクレジットカードの契約がやりやすくなったり、上位のカードを利用する招待があつたりする。
- ・ 利用額がインターネットで管理できるのでどれくらい使用しているのかの確認が簡単。



クレジットカードの危険な点

- ・ キャッシングというお金を借りられるサービスが有る。これを利用すると高い利子を払う必要がある。
- ・ 分割で支払う場合、一回の支払い料は安くなるが、その分利子が掛かり、一括よりも高い金額を払うこととなる。
- ・ 利用料金を一括して特定日に支払う必要が有るため、支払日までに口座に金額を振り込む必要がある。
- ・ クレジット決済システムは大手が管理しているがそのシステムが停止すると支払いなどができないくなる。





クレジットカードのまとめ

- ・ 9/5に大規模なシステム障害で全国的にクレジットカードが使用できない事態になった。障害事態は1.5時間ほどで解消した。原因はハードウェアの障害によるもので、およそ3割、約45万件の処理が不可、遅延した。
- ・ クレジットカードは現金が手元になくても支払いが可能な大変便利なシステムだが、決済システムを管理するのは人間であるため、全幅の信頼を置くのは危険。
- ・ また、利用額をネットで確認できるとは云え、見境なくカードを用いて購入をすることはお金を利用することへのブレーキを忘れてしまうことにも成りかねない。
- ・ ポイントが貯まるなどのメリットも多いが、自制できる人ならともかく、あまり自信のない人は現金での購入を心がけ、もしもの手段としてクレジットカードを用いるのが良いと思う。
- ・ ただ、外国では紙幣よりクレジットカードの方が信頼が高い場合があるため、そのあたりは要所要所での使い分けが大切。